

松禪寺報

<http://syozen.com>

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 43 号

発行日 平成 22 年 12 月 25 日

手や足の 汚れは常に

洗えども

こころの垢を 洗う人なし

今年も早師走を迎えています。

慌ただしく日々が過ぎ去っていったような感じですが、皆さまはいかがでしょうか。私は、母を亡くし、愛車を壊し、頭を縫うという、まあいろんなことがあった年でありました。

だからということではありません。私が、四国八十八カ所霊場巡拝で懺悔の旅を始め、先月には山陰東教区では実に30年近く行われていなかった御親化授戒会が執行され、ここでも懺悔礼拝を行いました。授戒会とは、私たちが守るべき「きまり」や「仏さまの教え」を戒師さまより授けていただき、真の仏教徒として自覚させていた

もぬすむべからず。

第三不邪淫戒(みだらな所行あるべからず。)

第四不妄語戒(うそ、いつわりを言うなかれ。)

第五不飲酒戒(みだりに酒を飲んで心を乱すことなかれ。)

この戒を「よく守るか」と管長さまより問われ、「よく守る」と誓ったわけです。しかし、一方で管長さまは、「死ぬまでこの戒を守り通すことは無理だと思っ

つかは戒を破ってしまうことがある。破らざるを得ないこともあるだろう。」ともおっしゃいました。お釈迦さまは、人間が幸せに生きていくうえで守らなければならぬ五戒を定められました。あえて守りきれないことを私たちに授けられたことになりました。つい五戒を破ってしまったらどうするか。管長さまは、「ごめんなさいお釈迦さま」と言ってお懺悔しな



う規則ではなく、私たちが尊い命をいただいていること、生れながらに清らかな心を持っていることに気づくこと、仏心に目覚めることなんだと説かれました。

「人を殺してはいかんのではない、虫一匹でもよう殺しませんという心をわからしてもらうことであります。人の物を盗つてはならぬじゃない、人様の物などはよう盗りませんとわかること、…(中略)…、こうわからして頂くことが授戒の意味でなければならぬのであります。」(故・山田無文老師著書より)

正月、彼岸、年忌法要、お盆など、つい汚してしまつた心を洗い清める機会はいくらでもあります。慌ただしい一年を振り返り、除夜の鐘の音とともに新たな気持ちで新年を迎えましょう。



仏教徒として身も心も新たに

教区主催の御親化授戒会に五百三十一人が参加して懺悔礼拝などを修行

臨済宗妙心寺派山陰東教区では和田山町竹田の観音寺様を会場に11月21日、22日の両日、大本山妙心寺から河野太通管長様、妙心寺山内は靈雲院の則竹秀南老大師様、妙心寺派宗務本所教学部長・栗原正雄師を迎えて御親化授戒会を厳修し、河野管長様の戒師のもと5百31人が仏弟子となりました。

教区主催の授戒会としては約27年ぶりの開催ということもあり、多くの皆さんの出席がありました。松禪寺からも10人が出席して仏弟子としての自覚を新たにされました。さらに、この授戒会において行われた因縁授戒(先祖供養)には14人から23体の申込みがあり、管長様の導師のもと塔婆供養も行われました。

御親化とは「直接教化する」という意味で、管長様が直々にお越しになつて授戒会を行い、授戒の意義を説かれ、加行礼拝を導いた後で自ら戒を授け、戒名が与えられるものです。本来は3日間以上

行わなければなりません、今回は一日授戒とし、その分懺悔礼拝は丁寧に行うよう何度も管長様から指示がありました。

肌寒い午前7時半には戒徒の皆さんが来山され、午前9時から授戒会の説明、晋山式、祈祷法要など様々な行事が休みなく続きました。午前10時半からは管長様の法話「宗門安心章」を拝聴して昼食休憩。50分後には教学部長・栗原正雄師の法話を拝聴し、続いて唱名師である靈雲院・則竹秀南老大師の導きで過去・現在・未来の三世にわたるあらゆる仏様のお名前をお唱えしながら礼拝する加

▲懺悔礼拝(さんげらいはい)を繰り返し仏弟子となることを誓った戒徒の皆さん



▲戒師 妙心寺派管長・河野太通老大師



▲唱名師 京都・靈雲院 則竹秀南老大師



▲布教師 本山教学部長・栗原正雄師



▲お寺の全ての鳴らし物が鳴り響くなか、管長猊下はじめ多くの和尚様に見送られ下山される戒徒の皆さん。

行 札 拝 を 行 い ま し た 。 続 い て、
管長様の導師により総供養を行
い、申込みいただいた各家のご先
祖をはじめ、有縁無縁の先亡諸靈
位に向けて感謝と報恩の供養を行
いました。そして、登壇といつて
仏弟子となった証である「血脈」
を管長様より授かりました。読経
のなか、一人一人が登壇に向いま
した。まず、香水師様（玉林寺住
職・奥村師）から浄水をいただき
自らを清めます。続いて、羯磨師
様（瑞泉寺閑栖・長田師）に三宝
印を額に押していただき、唱名師
様（靈雲院・則竹老大師）に低頭
して管長様の前に進んで血脈を授
かり、最後に布教師様（教学部長・
栗原師）に低頭して登壇が終わり

ます。授戒会の最後にも管長様や
布教師様からお話があり、管長様
は懺悔礼拝の大切さを説かれまし
た。午後5時にすべての行事が終
わり、戒徒の皆さんはお寺のすべ
ての鳴らし物が鳴りわたる中、管
長様はじめ多くの和尚様に
見送られて会場を後にされ
ました。

参加者の一人は「あんな
に大変な行事だったとは思
いもありませんでした。お
寺さまお一人お一人に頭の
下がる思いでいっぱいです。
そこに参加させていただき
ましたことは、生涯最高の
幸せと思っております。」と、
感謝と感動の言葉を述べて



▲総供養で因縁授戒の塔婆を薫じられる管長猊下

おられました。
これからの日々、この
授戒会で得た教えを抛り
所に、健やかな人生を歩
んでいただきたいと願っ
ております。



▲羯磨師・瑞泉寺閑栖和尚様（奥側）、香水師・玉林寺和尚様（手前）

第3回四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅

好天候に恵まれ高知市とその周辺9ヶ寺を参拝

第3回四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅を11月29日、30日に行いました。今回は高知市内及びその周辺の9ヶ寺、第28番札所から36番札所までを巡拝しました。但馬と違って高知市は暖かく、両日共快晴に恵まれ、また参加者も第3回目ともなれば余裕もあり、順調に巡拝できました。



▲11月末でしたが四国は好天候でした=第28番・大日寺

29日は28番大日寺など5ヶ寺を



▲第36番・青龍寺の石段を上がる巡拝団

巡拝しましたが、これまでになく歩く距離は短く順調に回ることができました。この日の宿は高知市内の高級旅館でした。食事も楽しく親睦を深めることができ、朝食のバイキングも食べきれないほど豊富な献立で、しっかりと腹ごしらえができました。

30日は午前8時過ぎに出発して桂浜を散策、NHKドラマ「龍馬

伝」で観光客も多く早朝から賑わっていました。買い物物を済ませて33番雪蹊寺から巡拝開始、午前中に3ヶ寺、午後に1ヶ寺を予定通り巡拝しました。最後に巡拝した清滝寺は山の上であり、細い山道はバスでは通行できずタクシーに乗り換えての巡拝でした。一面

にブンタンが実るなかを車はジグザグに登頂して寺にたどり着きました。読経参拝を終えて境内にそびえる薬師如来像の胎内巡りを経験して山を下りました。予定よりも少し早く巡拝を終え、午後2時頃には帰路につきました。往路と同じく瀬戸大橋を通って但馬をめざし、午後7時半には寺に帰り着くことができました。

第4回は来年4月上旬に、2泊3日の予定で高知から愛媛に入る予定です。

坐禅会のご案内



坐禅はまず自分の呼吸に意識を集中するところから始まります。体と心を調べて静かに坐るとき、平素は気付きもしなかつた生の情報が、心に溢れ入ってくるのがわかります。鳥の声、風の音、木々の香り……。多忙

で複雑な社会環境の中で自分を見失ってはいませんか。静かに自分自身を見つめ直し、心を癒して今を生きましよう。

日時 毎月20日
午後8時より約1時間程度

場所 松禪寺本堂

内容 般若心経の読経、坐禅を15分〜20分ほど組み、これを2回繰り返します。坐禅を終えて、白隠禪師坐禅和讃の読経茶礼

※坐禅を組めない人は、正座、イスに座つての坐禅をおすすめします。

達磨忌と開山忌を営みました

皆さんから寄せられた米と野菜で「けんちん汁」を調理してお供え

11月3日(文化の日)は久しぶりの秋の日差しに恵まれ、凜と張り詰めた空気に清々しさが漂う秋晴れでした。

そんな心地よい天候に恵まれて、お寺では達磨忌、そして開基開山忌を併せて行いました。

寺役員をはじめ檀家さんらがお参りされ、共にそれぞれの遺徳を讃え偲びました。毎年、達磨さんにまつわる話に加え、今年も当寺の歴史の一端にもふれ、先人のおかげで今があることを述べてきました。

お昼には、当番さんが午前8時から調理に入った、けんちん汁、ふろふき大根、白和え、茶飯のほか、こんにやくや漬げ物など、それはそれは盛りだくさんの料理物で、お参りされた皆さんとゆっくり味わうことができました。



▲けんちん汁、茶めし、ふろふき大根、白和え

た。

「けんちん汁」は、毎年調理される皆さんによって、味は多少なりとも変化します。それがまた、この料理の良さであり、奥深さでありましょう。

午後6時から、兼務寺院でも同じように達磨忌を営みました。ここでも、手作りの汁物や漬げ物など、いろいろな味を楽しませていただきました。

川柳

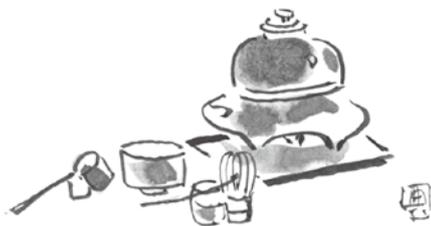


世界で一番短い定型詩のひとつ、それが川柳です。俳句のような季語や切れなどの制限がなく、

自由奔放に今の時代を皮肉った遊び心にあふれています。今回紹介する川柳は、故・岡田良造さん(栗尾)が生前につくられていたもので、法事の席で参列者に配られたプリントからその一部をご紹介します。たしましょう。

川柳(故・岡田良造さん作)

- ・度忘れは 順調な老化と 胸を張り
- ・忘れじと メモした筈の メモ忘れ
- ・わしゃばけて ないぞと他人の 靴をはき
- ・俺だけは 当分死なぬの 顔ずらり
- ・お迎えは 順不同の アミダくじ
- ・ただ歩く その幸せに 今気付き
- ・嫌なやつ どこか自分と よく似てる
- ・いい方に とれば励みに なる皮肉
- ・生きている うちに行つとこ 食べておこ



- ・長生きの 秘訣知つても 真似できず
- ・歳とると 老いることとは違ふよう
- ・犬に言う ように俺にも 言つてくれ
- ・私には 見せぬ笑顔を 犬に向け
- ・時はカネ カネ使わずに 時使う
- ・死ぬ時にゃ きつとどうでもいい悩み
- ・チョコ渡し 二人で食べる老いの仲
- ・「さて」といい 立って考え また座り
- ・小魚を 食ったマグロを 人が食い
- ・言い過ぎを 忘れるために 草を抜く
- ・ゴキブリが 老いの夫婦を 活気づけ



山陰東教区花園会女性部主催

おかげさま奉仕団

平成 23 年 3 月 3 日（木）
～ 4 日（金）

参加者募集中

山陰東教区花園会女性部では、大本山妙心寺で奉仕作業を行う「おかげさま奉仕団」を実施します。日頃のご先祖様への感謝の気持ちを、本山での奉仕作業という形に表し、ご先祖への恩返しをされてみてはいかががでしょうか。通常の団参と同様に、法話や法要もあります。ぜひお誘い合わせのうえにご参加ください。

【ご案内】

実施日：平成 23 年 3 月 3 日（木）～ 4 日（金） 1泊2日
旅費：お一人様 2万円
宿泊先：花園会館
申込み：平成 22 年 12 月末日までに旅費を添えて松禪寺までお申し込み下さい。

〈主催〉山陰東教区花園会女性部（会長・藤井茂登子―観音寺檀徒）
〈後援〉山陰東教区宗務所（宗務所長・濟東英―神照院）



期日	行程
3 / 3 (木)	各地区 == 夜久野 == やまがた屋 == 〈京都縦貫道〉 == 8:30 頃 9:10 ~ 9:20 10:40 ~ 11:00 = 大本山妙心寺（花園会館にて昼食→開会式→奉仕作業→入浴→法話→薬石（夕食）→宿泊 12:00 頃着
3 / 4 (金)	大本山妙心寺（起床→暁天坐禅→団参諷経→粥座（朝食）→奉仕作業→閉会式） = 12:15 頃出発 = 京都国際ホテル（昼食） = 北野天満宮（梅花苑散策、茶菓子付） = 〈京都縦貫道〉 = 12:30 ~ 13:45 14:00 ~ 15:00 = やまがた屋（買物） = 夜久野 = 各地区 16:15 ~ 16:45 18:00 ~ 18:10 18:45 頃

第42回少年少女研修会が本山で開催

参加者募集中

大本山妙心寺で小学校4年生から6年生までの児童と保護者を対象にした標記研修会が開催されます。楽しいレクレーションに坐禅体験、盛り沢山の企画が用意されています。ぜひ親子で参加してください。参加ご希望の方は、**松禪寺までご連絡ください。**

記

日時 平成23年3月25日(金)

27日(日)まで

会場 大本山妙心寺・花園会館

対象 花園会員の児童で小学高学年(4、5、6年生の男女及びその保護者)

研修テーマ

「ありがとうの心に気付く」

日程 参加ご希望の方に詳細な日程を差し上げます。

募集人数 約150名(引率は、大人の方をお願いします。)

※定員になり次第、締切させていただきます。

参加費 1名につき1万円、当日

受付にてお願いします。
申込締切 3月10日



▲昨年の少年少女研修会の模様(妙心寺)

禅寺探訪

妙心寺塔頭寺院の中でも通常拝観を行っていない、天祥院、玉龍院、大法院の三カ寺を特別拝観できます。

【期間】

前期 平成23年1月27日(土)

2月16日(水)

後期 平成23年2月17日(木)

3月13日(日)

※前・後期は大法院での展示物の入れ替えによるものです。

【伝統文化体験】

○扇子作り(遠藤新兵衛商店) 期間1

2月22日(土)28、2月17日(土)25

○念珠作り(安田念珠店) 期間1

2月29日(日)8、2月26日(土)3

○にほい袋作り(松栄堂) 期間2

2月9日(土)2、16、3月6日(土)3

【料金】

○宿泊プラン：12,000円(要

予約)

(1泊2食付1名様/税・サ込、

特別拝観料、伝統文化体験含む)

○日帰りプラン：3,800円(要

予約)

(昼食1回付1名様/税・サ込、

特別拝観料含む)

※オプショナルとして1,500円

にて伝統文化体験をご用意して

ります。

★宿泊プラン・日帰りプランとも

拝観時間は午後のみ、13:00

15:00となります。

《お問い合わせ、お申し込みは花園

会館まで》

〒616-8034京都市右京区

花園木辻北町1-5

電話075-461-6857、

FAX075-461-6825

<http://www.hazonokaikan.com>

▲松禪寺で「禅寺探訪」の旅行募集は行っておりません。個人やグループでの参加をおすすめします。詳細は花園会館のホームページもご覧ください。

ぜひお参りください

除夜の鐘撞き



行く年来る年、大晦日は除夜の鐘を撞いてみませんか。今年も大晦日には、お参りの皆さんによって除夜の鐘を撞きます。

除夜とは、除日(じよじつ)の夜といい、旧年を除く日と辞書にはあります。その夜に鳴らす「除夜の鐘」は、年を越すにあたり人の心にある百八つの煩惱を清らかな鐘の響きで鎮め、新しい気持ちで新年を迎えようとする仏事のひとつです。

12月31日(金)の午後11時45分頃から撞き始める予定です。本堂、薬師堂へのお参りもできます。温かい飲み物なども用意していますので、ぜひお参りください。

お願いとお知らせ

◆新年度の評議員について

評議員(14名)については一年で交代される地区が多いのですが、新たに評議員となられた方のお名前



報告を速やかにお願いいたします。評議員総会は、明年2月中旬

を予定しています。

◆年頭について

正月2日(日)より年頭に各檀家さんを回らせていただきます。2日は但東町内を回り、それ以外は3日(月)に回りますので、よろしくお願いいたします。

平成二十三年 年忌法要

平成23年(二〇一一年)に年忌法要を迎える故人の歿年度は左記

松禪寺霊園のご案内

境内地の静寂に心やすらぐ霊園



松禪寺霊園の利用者を募集いたします。お寺の境内地ですので、維持管理はお寺が行います。駐車場のすぐ側にありますので、足の悪い人、車いすを使用される人でも安心してお参りできます。松禪寺の檀家、あるいは今後檀家になつていただける人を対象にしています。お問い合わせ、使用ご希望のご相談は、松禪寺か総代役員にお願いいたします

のとおりです。法要の実施日については、なるべく早めにご連絡ください。年忌正当年にあたるご先祖様がおられるかの確認は、寺へ電話でお尋ねくださるか、年忌操出を本堂に張り出していますので、寺にお越しの際にご覧ください。また、年明けには個別に通知を差し上げます。

【平成23年度年回表】

- 一周忌 平成22年没
- 三回忌 平成21年没
- 七回忌 平成17年没
- 十三回忌 平成11年没
- 十七回忌 平成7年没
- 二十五回忌 昭和62年没
- 三十三回忌 昭和54年没
- 五十回忌 昭和37年没
- 百回忌 明治45年没
大正元年没

☆近年は年末年始に雪が舞うことが多いのですが、今年はいかがでしょうか☆インフルエンザ、胃腸風邪、どうぞ寒さに用心してお気を付け下さい☆今年一年お世話になりました。皆様にとりまして良き新年になりますようお祈り申し上げます。